



Share Rotary— Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 斎藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 75 名 出席 55 名 出席率 73.33% 前回出席率 72.00% 修正出席 67 名 確定出席率 89.33%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

1. 西R.C.の半田茂弥さんがなくなられました。当 R.C.としても拡大委員会の一員として御活躍を願って参りました。御香典として一万円差し上げる事にしました。
2. 土曜会合唱団が7月1日出発する事になりました。会員1名千円以上の御寄附をお願いし、不足分併せて総額20万円差し上げる事にしました。
3. 般若寺さんがサンフランシスコにお寺を作られて、その落慶式に参加して参りました。

4月21日に出發し、28日に帰って参りました。日米山桑港寺というので60年の歴史をもち藤川享胤さんは8代目として約6年間活躍され、大変御功績が大きい事と聞いて参りました。次にロサンゼルスに行き、禅宗寺と仏真寺に剃髪の青い目のお坊さんや尼さんと共に参りして来ました。

幹 事 報 告

斎 藤 隆 君

1. 鶴岡商工会議所より4月22日行なわれた山形県珠算選手権大会に協力していただいたの礼状到着。

出 席 委 員 会

年間皆出席

9年間皆出席	山 口 篤之助 君
2 "	斎 藤 隆 君
2 "	松 田 貞 夫 君
1 "	加 藤 賢 君
1 "	松 田 士 郎 君

4月100%出席 55名

阿蘇・張・藤川・布施・飯白・石黒・板垣(俊)。

市川・川村・黒谷・小池・小松(広)・今野・小松(三)・工藤・加藤・忠鉢・三井(徹)・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・森田・松田(貞)・松田(士)・中江・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・庄司・佐藤(英)・鈴木(茂)・佐々木・斎藤(昭)・白坂・高橋・丹下・津田・手塚・富樫・高田・上野・内山・渡部・若生・山口・吉野・塚原・御橋

親睦活動委員会

会員誕生

阿部与十郎君・諸橋政積君
板垣広志君・松田士郎君
市川輝雄君・佐藤友吉君
迎田 稔君

奥様誕生

石黒 常様・板垣喜美子(俊次)様
黒谷貞子様・松田一枝(士郎)様
上野和子様・山口マサキ様

◆「鶴岡歳時」という16ミリの映画が上映された。

ビ ジ タ ー

余目R.C.	佐 藤 孝二郎 君
立川R.C.	滝 禅 源 君
鶴岡西R.C.	佐 藤 成 生 君
"	鈴 木 昭 吾 君
"	三 浦 正 志 君
"	佐 藤 拓 君

(今週の担当者 菅原辰吉)

庄内空港の建設を推進しましょう

ロータリー用語便覧 ⑮



年会費と入会金

各正会員シニア・アクチブ会員およびパ

スト・サービス会員は、そのクラブの細則に定める入会金と年会費をクラブ

に支払う。その金額は、国際ロータリー加盟各クラブ間でも一定していない。

パスト・サービス会員

会員がその職業から離れたときには職業分類を失うことになるので、

正会員としての身分を当然失う。しかし、その会員が通算5年以上ロータリー・クラブの正会員であった場合には、パスト・サービス会員に選ばれることができる。これは1930年のシカゴ大会で規定された制度であるが、このパスト・サービス会員は、職業分類を持たないのでアディショナル正会員を推薦する権利はないものの、その他の点ではすべて正会員と同じ権利と義務を有する。また、シニア・アクチブ会員の身分を取得することについても、制定案(77-26)の採択により、正会員と同じ条件である。

パスト・サービス会員が再び職業に就いた場合には、自動的に会員の身分は失われる。

ビジター出席カード

他クラブから来訪のロータリアンの出席をその所属クラブに通知し、

有効な出席を確認するため、クラブ幹事が用いるカード。→マーク・アップ

標準クラブ定款

国際大会で採択され、1922年6月6日以降の全加盟クラブが採用すべきクラブ定款。→定款

婦人補助団体

R.I.理事会は、クラブが有する婦人補助団体が、ロータリーと

ロータリアンの名称や文字を使用することに反対であり、これを止めさせるよう決定しているが、こうした例はままあるらしい。もっとも、理事会は、会員の家族がロータリアンおよびロータリー・クラブの社会奉仕その他の奉仕活動に対して、個人的にも団体としても協力されることには感謝もし、大いに希望もしている。ただ、このような団体がロータリー

の文字を冠したり、ロータリー徽章を使用したりすることは認めないというのである。

ブスター・クラブ

ロータリー・クラブの最初の名称。ブ 1905年2月23日、ポール・P・

ハリスと石炭商のシルベスター・シールは、近くのイタリヤ料理店で夕食を済ませた後、つれ立って鉱山技師のガスターバス・ローアと洋服仕立職人ハイラム・ショーレイが集っていたローアの事務所へ行って「異なる職業人の集まりは成立するか」という命題について、さらに話し合った。そして、①仲間の職業上の利益を互いに尊重し、相互扶助の精神をもって仲間に接すること。②今日から仲間をふやす努力をすること。③同じ職業の仲間からの入会はさせないこと(つまり同業者が多いと、職業上の利害衝突がおこり易いからである)という結論を得た。この会合の翌日、2月24日に印刷業のハリー・ラッグルスが入会し、間もなく不動産業のウィリアム・ゼンゼンも加わり、やがて以上の6人がお互いの職業を知りあうために隔週の会合を開くようになり、それが数カ月もつづいた。そしてこの数カ月の期間をブスター・クラブと呼んでいた。ブスターとは「後援者」とか「景気をつける人」という意味であるが、おそらく、仲間同士が友情をもってお互いに助けあうことから、付けられたのかも知れない。その後間もなく、それをロータリーと呼ぶようになったと伝えられている。

「平和への七つの道」

世界の問題に関心を持ち、しかも効果的な行動の道を求める個人

ロータリアン向けに書かれた本で、国際奉仕におけるロータリーの方針要綱にもとづいて編纂されてある。広く世界にわたるロータリーの国際奉仕の経験を通じて集められた事例は豊富で、示唆にとんでいる。その行くべき進路を選ばんとするロータリアンおよびロータリアンでない人々にも、またとない贈物であり、小グループで討論して行動すべき結論を生み出すように利用されるべき本として推奨されている。なお、「平和への七つの道討論会指針」は1部500円で入手できる。